Doctor's Message ▶ No.11

まちのかかりつけ

「人工関節」の手術は日々進歩しています。

今月の先生

方城診療所
浅野 茂利 所長

問 方城診療所
☎22-0242

日本人の長寿・高齢化は、すでに多くのかたが知っている言葉だと思います。私が高齢者の仲間入りをする二〇二五年には三人のうち一人が六十五歳以上ということですから、なんともすごい話です。

医療の現場にいると、新しい薬の完成やすぐれた手術法の出現、病気の原因解明など、人の平均寿命がますます延びそうな報告であふれています。しかしその一方で、寿命が延びたことで逆に問題となってくる病気もあります。私が専門としている整形外科では、「骨粗しょう症」や「変形性関節症」がその代表例です。

「骨粗しょう症」は、ご存じのとおり骨がもろくなって骨折しやすくなる病気ですが、以前このコーナーでもお伝えしたように効果的な治療方法が示されて、ますます骨折や寝たきり予防の成果をあげています。

ところがもう一つの「変形性関節症」はその発生原因がいまだはっきりせず、老化現象だとか使い過ぎだとか、漠然とした説明にとどまっています。関節の軟骨がすり減って潤滑性が低下し、さらには骨が変形して動くたびに関節が痛む病気ですが、どうして軟骨がすり減っていくのか、どんな物質がそれをくい止める作用があるのか、今後の研究待ちとなっています。したがって関節に水がたまったり、痛みのために動きにくい患者さんがしばらくの間増えることになるのですが、こうした中、薬や注射でつらさを抑えることのできない患者さんにとって、最終的な治療方法となるのが「人工関節置換術」です。

人工関節の歴史はまだ浅く、今から五十年前に股関節、三十数年前に膝の人工関節が開発されて、現在まですごい勢いで改良され普及してきました。人工膝関節を例にその基本的な構造を説明しますと、コバルトクロムやチタンなどの金属でできた型を、太もも側とすね側の両方の骨の変形した部分を削って埋め込み、人工軟骨ともいえる超高分子ポリエチレンをクッション代わりにその間にはさむような構造になっています。つまり関節の傷んで壊れた部分を、完全に金属と人工軟骨で置き換える手術なのです。

この手術によって得られることは、それまで歩くたびにあった痛みがかなり軽減することと、O脚などの脚全体の異常な傾きが矯正され歩きやすくなることです。一方、心配事は人の体に大きな金属などを入れることで、膝全体が化膿する危険性にさらされること（一～二％）、術後の膝曲げが平均して一〇〇度程度となりいすやベッドを利用する生活様式になることです。また農作業などの激しい運動は、人工関節の緩みにつながるので避けなければなりません。

以前は「人工関節は十～十五年はもつけれども、その後はもう一度入れ換えなければならない」と言われていました。しかし改良が進み、現在では九割のかたが二十年以上再手術を受けなくて済んでいます。また手術方法も進歩して切開する傷がかなり小さくなり、術後の回復が早くなりました。

高齢となっても生活の質が大切であることは言うまでもありません。これからも人工関節の手術が、変形した関節の痛みをとってくれる優れた治療法として進歩していくことと思います。

→人工関節の手術を行うと痛みがほとんど無くなるので、日常生活だけでなく旅行や軽いスポーツもでき、快適な生活をおくれるようになります。

Disease prevention ▶ No.10

ふくちの健康お悩み相談所

担当医：方城診療所
牟田 広実 副所長

慢性的に胃の調子が優れないかたは一度ピロリ菌の検査を。

質問

胃潰瘍（かいよう）になったときに、ピロリ菌の検査を勧められました。ピロリ菌って何ですか？

回答

ピロリ菌とは、正式には「ヘリコバクター・ピロリ」と呼ばれる、胃の中にすんでいる細菌です。ノーベル医学生理学賞を2005年に受賞したマーシャル先生らによりこの細菌が見つかり、胃・十二指腸潰瘍だけでなく、胃がんの原因でもあることがわかっています。胃・十二指腸潰瘍になった人でピロリ菌陽性の場合にはピロリ菌を退治（除菌）することによって再発率が10分の1以下になるため、積極的な除菌治療が勧められています。

悲しいことに日本人はこの菌の感染率が高く、特に40歳以上では80%以上が感染しているといわれています。ピロリ菌の検査や除菌治療は、現在の保険制度では胃や十二指腸潰瘍の患者さんにしか認められていませんが、ご家族の中に胃がんのかたがおられる場合や、なんとなく胃の調子が優れないというかたは一度検査を受けてみられることをお勧めします。

検査法としては、内視鏡で胃の組織を取ってきて検査する方法もありますが、お薬を飲んだ後に息を吐くだけの検査や、血液や便で検査するような簡単な方法もあります。主治医の先生に相談してみてください。

←方城診療所でも、簡単な方法でピロリ菌の検査ができます。

■健康に関するお悩みにアドバイスします。
企画課広報・広聴係までお気軽にお電話ください。☎（22）7766

Daycare center Fukuchi ▶ No.10

デイケアセンター福智

☎28-9511

最終回

優しい笑顔と安心がここにある

～利用者の家族の声～

父の元気の源です。

有田千鶴さん（赤池・西組）

寝たきり状態だった父を外に出してあげたい。デイケアを利用することでそれがかないました。リハビリが充実しており、個々に応じたプランを三か月ごとに診断してもらえ、全体をとおして本人と家族のニーズに応えてくれるため、本人も通うことが苦にならないようです。利用前と比べ、体力が向上し病気も減りました。体調が悪くなった時はすぐに家族に連絡が来て、診療所で診断してもらえるのも安心です。スタッフ全員が優しく、デイケアはわたしたち親子にとって、なくてはならない存在です。

生活にメリハリができました。

仲島安江さん（伊方・東古門）

母がデイケアを利用し始めて一年、月曜日から金曜日まで週に五回通っています。家に居たころはどうしても寝ていることが多かったのですが、ここに来だしてからは昼間にリハビリで体を動かすため、夜はぐっすり眠れて、生活のリズムが整ってきました。家ではできないリハビリや自立の支援をしていただけるほか、毎日入浴ができるのもうれしいです。ここの一番の魅力はやはり、同じ施設内に診療所があり情報が一本化されていることです。往診や訪問看護も充実しており、今後も安心して利用できます。